

令和6年6月30日

TEL・FAX 0954-66-3113

発行責任者 江口 常雄

き ず な

す けん き みどり さと おお くさ の
住 み よ い 元 気 な 緑 の 郷 大 草 野

小雨の中を強行！ 田植え体験学習 できました！

「おいしくなあれ、モエモエ、キュンキュン！」 6月20日（木）

上に書いた言葉は、去年の5年生たちのおまじないの言葉です。

今年植えた苗も、モエモエ、キュンキュンして欲しいと思います。

今年の5年生は15人と少ないので1班編成で全部を植えてしまいました。田植えを始めて、いつも最初は、慣れない場所に足を取られたり、植える要領が分からなかったりで、時間がかかりますが、その段階を

過ぎるととても上手くなります。今年の田植えチャンピオンは、右の写真の香田楓さんです。田植え体験は初めてのことでしたが、



サウスポーで器用にサッサと植えて、仕上がりもきれい。 **グッジョブ！**



「サウスポーは器用」は本当でした！

和光幼稚園へ（6/20:木）

SAGA2024のぼり旗の制作をお願いしました！

嬉野市では、SAGA2024大会を盛り上げるために色々な取組が計画してあります。小中学校ではのぼり旗の制作依頼はすでに行われたとのことですが、大草野校区にある和光幼稚園にも大会盛り上げにぜひ一役買ってほしいということで、田中会長がのぼり旗5枚とクレヨン20箱を持って和光幼稚園を訪れて、協力をお願いしました。

どんなのぼり旗が出来上がるか楽しみにして、出来上がった作品もご紹介したいと思います。



今年の「かかし祭り」について（大切なお知らせ）

各部会で作るかかしの制作テーマが、役員会時の抽選によって担当する国スポの競技種目が決まりました。

- ①総務広報部会：軟式野球 ②公民館活動部会：レスリング ③青少年育成部会：スポーツチャンバラ
④健康福祉部会：電動車いすサッカー、ポッチャ ⑤環境整備部会：なぎなた ⑥地域づくり部会：武術太極拳

さらに、今年度は国スポ全障スポの開催年ということで、SAGA2024 推進課の要請で、設置場所が、嬉野庁舎とみゆき公園の中間付近にある、市貸農園であるリフレッシュ農園内に設置展示することになりました。12日の役員会時に担当者に来てもらい、「農業政策課の了解も取ってあるので、ぜひ今年はここに展示してください。ということで、各部長は、「若干ハードルが高くなるな！」と言う声もありましたが、50年に一度の大会に喜んで協力しようということになりました。各コミュニティ部会員の皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

ホタルの幼虫放流体験をしました！

4年生のみんなで幼虫を放流

(6月18日：火曜日)

「新しくできた人工池に幼虫を放流！」という見出しを付けたかったのですが、完成から40日ほど池に水を入れてきたので



来年こそは、ここに放流を！

すが、蛍の幼虫のエサであるカワニナがまだ新しい池に生息し続けよう。新しい池にカワニナが生息し続けるかは、今後、経過観察を続けていきたいと思います。

ということで、今年まで

は残念ながら従来の下段の池に放流しました。池に到着する早々

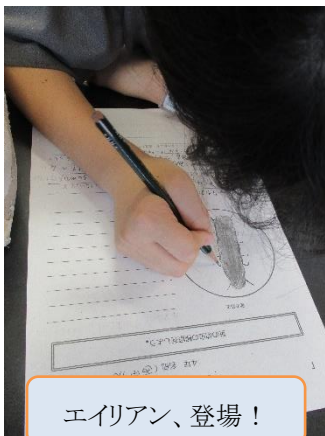


から、池の中、その周りや草の中に色々な生き物を見つけ、子ども達は大はしゃぎです。紙コップに少しずつ入れた幼虫を覗き込んで「ちっちゃ！」とか「これ本当にホタルの幼虫？」などと感想が飛び交っています。新しい池の方にも、エサになる観察用のカワニナを入れて、体験放流は終了です。この蛍再生事業担当の一ノ瀬顧問も「来年は、きっとたくさんの蛍が飛び回るでしょう、鑑賞会までできるようにしたいです。」と話されていましたが、ぜひ実現するようにお願いしたいと思います。新しい人工池が、ちゃんと生息地になったあかつきには、下段の方の池も同じように整備をして、源氏蛍の名勝地にしたいと思います。



<生態学習> 蛍の幼虫観察 今年もいたぞ、エイリアン？！

ホタルの幼虫を顕微鏡にセットするのは、本当に難しいのです。もっと簡単にセットできないかと思いますが、子ども達に生きた状態を見せるために毎回大変です！虫が嫌いな女の子は、なかなか顕微鏡を覗き込もうとしません。しかし、見ないと絵を描けないので、意を決して覗き込んだかと思うと、肩をすくめていました。黒い小さなゴミにしか見えない幼虫を、見たことのない保護者の皆さんにもぜひ見てもらいたいと思います。



エイリアン、登場！



一生のうちのほとんどを水中で過ごし、きれいな光を放って飛び回るのはほんの10日から2週間だと聞いて、子ども達は「ホタルの一生」についてどんな感想を持ったでしょうか？

「心配なことばかり」
前回の「きずな」に、子ども達がSNS上の悪質なものの犠牲にならないか心配で、情報機器の使い方習得する時間と同じくらい倫理に関する時間も必要ではないか？と書きました。
一方、高齢者の心配事は、日本はいつからこんなに人品が卑しい国になったのか、と残念な気持ちになります。
ある国会議員が、他国の「民度が低い」などと下に見るような発言をしていましたが、現状では、日本はおろか世界中に日本人のウソツキが横行しています。私達日本人は自戒を込めて思い上らないようにしなくては、と思います。
昔からのことわざで「敷居を跨げば七人の敵がいる」と思え、というのがありますが、今では詐欺師が平気で家に電話を掛けてきます。皆さん、絶対、卑怯者に騙されないようにしてください。こんな世の中だからこそ、地域の見知った人とは気兼ねなく言いたいことを言い合える関係をもっと深めておく必要があると思います。コミニティでも、世代を超えた事業を行って、未来に繋げていければと思います。大したことでなくていいと思います、ひとり一人が、心の中に周りの人を思いやる気持ちをもっているような、そんな地域でありたいと思います。

〈編集後記〉